

大阪市発達障がい者就業支援コーディネーター事業

事業概要

発達障がいに関する専門知識を有し、かつ、就業支援サービスの提供もできるコーディネーターを大阪市障がい者就業・生活支援センターに配置し、市内在住の発達障がい者を対象として、必要となる就業支援サービスを提供するとともに、発達障がい者就業支援コーディネーターを起点として必要な支援機関と結び付け、チームで就業等を支える体制を構築する。

1 平成27年度進捗状況（4月～12月末）

昨年度に引き続き、当該事業への相談者のうち、就労を希望するものの、就職や職場への適応が困難で2次的障がいを発症した人など、日常生活又は職業人として困難をきたしている人に対し、エルムおおさかと連携等による医療支援・発達支援・就労支援等を通じて日常生活面の安定から就労に向けた一貫した支援を展開する。また、今年度は新たに、大学・専修学校や発達障がい者支援センターと連携し、発達障がいがある学生及び学生支援者向けに「就労準備支援」を展開し、就労に向けた課題整理と対応の工夫を知る機会を提供することで、職場環境への適応困難などを予防につながるよう取り組みます。

（エルムおおさかと連携した講座や就労準備支援については、資料1 27年度発達障がい者支援センター事業報告を参照のこと。）

- (1) 登録者の状況 263名
 - ・新規相談者 45名（H26年12月末時点は72名）
- (2) 目標値の達成状況

① 【目標】相談から就職準備プロセスへの移行：20人以上

- ・H27年12月末 33人（新規登録者のみ）
- ・エルムおおさかと連携し「感情のコントロール」「自己理解」など就労するために大切な日常での工夫の気づきや実施のきっかけを学び、就職準備プロセスへ移行する。
- ・施設見学・体験、職場見学・体験実習と終了後のフィードバックを通して、本人に就労準備の必要性を気付いてもらえるようかかわりを重ね、就労準備プロセスへ移行する。
- ・来所相談／支援同行時における「相談数・特徴・支援結果」などを就業・生活支援センター（地域7センター）と連携して集計分析し、発達障がいの傾向がある相談者への対応例を共有し、支援手法等を検討

② 【目標】就職者数：実人数20人以上

- ・H27年12月末時点の就職者26名（平成26年12月末は32名）

③ 【目標】職場復帰・定着支援：実支援人数10人以上

- ・受入れ企業に対し、障がい特性や支援方法の伝達、ハード・ソフト両面からの職場環境の整備、社内支援のキーパーソンとの理解共有に向けた調整、職場内環境変化等による職場適応課題への対応など。

職場定着支援対象者 117名
 職場訪問（延べ回数）56回（平成26年度7回）
 職場訪問（実支援人数）22名（平成26年度7人）

④ 【目標】 就労準備支援講座の参加者数：10人以上

- ・大学・専修学校等に在学中の発達障がいがある方及び学生支援者に対し、自己理解等の講座や「しごと体験」等を実施し、後に訪れる就職活動や職場生活の中で生じる課題への対応方法を知る機会を作る等の就労準備支援を大学や発達障がい者支援センターとの連携により実施。

(資料1 発達障がい者支援センター事業報告 COコラボ事業2 参照)

- ・大学・専修学校等への「出前講座」を実施し学生支援者等へ発達障がいの正しい理解と対応の工夫や社会資源の利用ノウハウなどを発信する。

種別	参加者	参加者数	内容
高等専修学校	在校生・家族・教職員・近隣福祉事業者・行政関係者 等	216	基礎講座（理解と支援） 社会資源と活用 など
専門学校	家族・教職員・福祉サービス事業者	27	教職員向け就労支援準備講座として（基礎講座）
府立高校（定時制）	教職員	38	基礎講座（理解と支援）
府立工業高校（定時制）	教職員	16	基礎講座（理解と支援）
（予定） 高校・工業高校・ 専門学校など （10校程度）	（予定） 当事者・家族・教職員・近隣福祉 事業者・行政関係者 等	（予定） 200 人規模	基礎講座（理解と支援） 社会資源と活用 など

⑤ 【目標】 セミナー等講演会への参加企業・機関：50以上

- ・12月1日（火）障がい者就業支援フェスタ開催 於：追手門学院大阪城スクエア
(参加者 208名、参加企業・機関数 97事業所)
- ・講演実績、連携会議等

派遣先	対象者	参加者数	内容
発達障害者雇用支援連絡協議会 (大阪障害者職業センター主催の会議)			協議会委員として参加 (年2回)
日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会関西支部（月例会）	医療機関のケースワーカー、福祉サービス事業者の支援員	40	講演「発達障がいと障がい者就労～障がい者就労支援の入口で行っていること～」
医療福祉学院 (作業療法士学科)	作業療法士科2年生	25	講義「発達障がいの就労支援の実際」
第48回 自閉症診療セミナー	精神科医師、小児科医師、心理士、教員、保健師	30	講演「素敵な大人になるために～社会との付き合い方～：就労」
大阪市教育委員会インクルーシブ教育推進担当（教育相談・研修）主催講座	市内全学校園の特別支援教育コーディネーターのうち、校園長推薦を受けた受講希望の教員	50	発達障がい専門講座「就労支援とキャリア教育について」
ひきこもり・家族支援ネット（定例会）	保護者	4	定例会講師 「障がい者就労支援について」

(3) その他の取組み

- ・ 休職者への復帰支援 1 名（企業・医療機関・就労支援機関との連携、家庭訪問）
- ・ 在校生（一般の高校や大学）の進路についての助言
- ・ 障がい者就労支援の枠組み（既存の支援）に乗るまでの支援
- ・ さまざまな選択肢の中から適したサービスにつなげる支援
- ・ 障がい者雇用、一般雇用に関わらず、働き続けるための支援
- ・ 企業を対象とした助言、情報発信
- ・ 支援機関等への助言、情報発信
（就業・生活支援センターとの事例検討会における助言など）

2 評価検証について

- (1) 出前講座や学生就労準備支援については、学生および学生支援者等の参加者について、受講者アンケート等により受講前後の変化・認識した課題の状況などから事業効果を検証していく。
- (2) 就職につながった者について、支援の成功例・困難例など個別事例を通じた要因分析を行う。